

令和6年度 都心のまちづくり担当理事 目標

組織名	都心のまちづくり担当	理事	三富 健二郎
目的・方向性	「選ばれる都市 新潟市」の実現に向け、都心のまちづくり「にいがた2 km」の取組を公民連携で推進することで、都市の経済活力を市内全域へ波及させ、「都市の活力向上」と「住民福祉の向上」の好循環を生み出していきます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	・都心エリアの平均地価変動率		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

都心のまちづくり担当 目標

<p>みなとまち新潟を象徴する信濃川と萬代橋から広がる都心エリア「にいがた2 km」において、高次都市機能の集積や魅力の創出、賑わいづくりを市民の皆様と一体で取り組むことで、『緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活力あるエリア』を創造し、8区のネットワーク強化を図りながら、『本市経済・産業の発展を牽引する成長エンジン』としていく取組を推進します。</p> <p>これらを踏まえ、都心のまちづくり担当として、今年度は次の4つの目標に重点的に取り組みます。</p> <p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 都心のまちづくり「にいがた2 km」の取組を組織横断で効果的に推進するとともに、市民の皆様と一体となって進めていくため、積極的に情報を発信していきます。 2 都心エリアの活力と8区の持つ魅力を結び付け、発展させていくことで、「地域外から稼ぎ、地域内で経済が循環する取組」を推進します。 3 「居心地がよく、市民が主役になるまちづくり」を具現化していくため、公共空間を活用した社会実験の実施や、エリアプラットフォーム等の多様な主体が連携する取組を支援していきます。 4 にいがた2 kmを舞台に、次代を担う人材がつながり合うことで、まちに新たな価値を生み出し、我がまちへの誇りと愛着を育みます。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	4
取組結果	<ol style="list-style-type: none"> 1 にいがた2 kmの取組を市民の皆様と一体となって進めていくため、学校等での講演や各種イベントの共催・講演、ロゴマーク活用推進など、公民連携した情報発信に取り組みました（年間95件、当初目標年間70件以上）。 また、特設ホームページ「ニイガタニキロニュース」による情報発信では、毎週、分かりやすく、楽しいコンテンツ作成に取り組み、閲覧回数の上昇につながりました。（約28,000回/月、当初目標11,000回/月） 2 にいがた2 km内のIT企業や市内8区の多様な事業者の連携による新たなビジネスの創出を目指し、今年度より実施したオープンイノベーション推進事業では、幅広い事業者から多数参加いただき、ワークショップなどを通じて4 				

	<p>事業を創出するとともに、各事業を伴走しながら具現化を進めました。</p> <p>3 「居心地がよく、市民が主役になるまちづくり」を推進するため、東大通において、地元商店街や関係事業者と連携し、道路空間利活用に関する社会実験を実施しました。また、その結果を踏まえ、有識者等で構成される検討会議において、東大通の道路空間の再構築について検討を進めています。</p> <p>また、多様な主体が参画するエリアプラットフォームの活動支援では、様々なテーマでセミナーや勉強会を開催したほか、ワーキンググループが3つ立ち上がるなど、会員間の情報交換やエリアマネジメントに向けた意識醸成を促進しました。</p> <p>4 若い世代がつながり、主体的にまちに関わってもらうことを目的に、公民連携で立ち上げた「にいがたまちあそび学校『KAIKOU!』」は、これまで講座を14回実施し、毎回多くの参加（延べ参加者約500人）をいただいています。</p> <p>また、地域の潜在資源を活用したリノベーションまちづくり推進事業では、古町エリアで3物件を対象にリノベーションスクールを実施し、民間主導の事業提案が行われ、具体化に向けて検討が進んでいます。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>引き続き、にいがた2kmの取組を市民の皆様と一体となって進めていくため、積極的に情報を発信するとともに、国内外と広くつながる企業群や新進IT企業等が集積する都心エリアの強みを活かし、新しいビジネスやサービス、売り方の創出を目指します。</p> <p>また、本市の都心軸である東大通において、人中心の居心地の良い空間づくりを進めていくため、引き続き、公民連携した社会実験を実施するとともに、将来を見据えた道路空間の再構築について検討を進めていきます。</p>